

保護者の皆様

ウイルス性胃腸炎（ノロウイルス）に関するお知らせ

ノロウイルス等のウイルス性胃腸炎が1年で最も流行する季節が近づいてきており、感染症への理解と予防について改めてお知らせいたします。

ノロウイルスについて

感染経路	症状
<p><食品からの感染></p> <ul style="list-style-type: none">・感染した人が調理などをして汚染された食品・ウイルスの蓄積した、加熱不十分な二枚貝など <p><人からの感染></p> <ul style="list-style-type: none">・患者の便や嘔吐物からの二次感染・家庭や施設内などでの飛沫などによる感染	<p><潜伏期間></p> <p>感染から発症まで 12～48 時間</p> <p><おもな症状></p> <ul style="list-style-type: none">・吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、微熱が 1～2 日続く。感染しても症状のない場合や、軽い症状のこともある。・乳幼児は、脱水症状や、嘔吐物を吸い込むことによる肺炎や窒息にも注意が必要。

予防策

①「手洗い」をしっかりと行う！！

- ・流水、せっけんによる手洗いが最も効果的な方法となるため、洗い残しの無いように手洗いを行う。
- ・特に食事前、トイレの後、調理前後はせっけんでよく洗い、流水で十分に洗い流しましょう。

②「食品からの感染」を防ぐ

- ・加熱して食べる食材は、中心部までしっかりと「加熱」する。
85℃で1分以上の加熱が必要です。食材の中心部までしっかり火を通しましょう。
- ・まな板、包丁、食器、ふきんなどは使用后すぐに洗い、調理器具や調理台は「消毒」して、いつも清潔にしましょう。

③嘔吐物の適切な処理

用意する物

- ・使い捨て手袋、使い捨てマスク、バケツ、雑巾、ビニール袋
- ・消毒液（ハイターなどの家庭用塩素系漂白剤の0.1%希釈液）

消毒液（0.1%希釈液）の作り方

- ①ペットボトルのふた2杯分（約10ml）の原液をペットボトル（500ml）に入れる。
- ②そこにペットボトル1本分の水を加える

手順

- ①マスク、手袋をして捨ててもよい布や紙をたっぷり使って嘔吐物を覆う。
- ②上から嘔吐物と同量程度の消毒液を静かにかける。
- ③拭き取った物、処理に使用したもの（手袋、マスクなど）は2～3重にしたビニール袋へ入れて、消毒液をかけて袋の口を縛って捨てる。
- ④汚れた床は、消毒液で拭く。
- ⑤処理の後は十分な換気を行う。
- ⑥処理後は、手洗いをし、必要に応じて衣類の着替えを行う。

※嘔吐物や下痢便で汚れた衣服の持ち帰りについては、厚生労働省の「保育所における感染症対策ガイドライン」に基づき、そのままビニール袋に入れて持ち帰っていただきます。

ご理解とご協力をお願いします。

ご家庭での洗濯方法

付着した便や嘔吐物を取り除き、85℃で1分以上熱湯消毒するか、塩素系の消毒液に30～60分間つけて消毒をする。ほかの家族のものとは別に洗濯を行う。

感染が疑われる下痢や嘔吐、または、腹痛や頭痛、発熱の症状があった場合

- ・かかりつけの病院へ早めの受診をお願いします。
- ・受診の結果、ウイルス性胃腸炎だった場合には、登園届の提出が必要となります。
症状が回復し、集団生活が可能と判断を受けてから登園していただきますようお願いいたします。

※園内で同様の症状が見られた場合には、感染拡大を防ぐため、速やかに保護者の方に連絡を入れますので対応をお願いします。

お迎え後、受診をし、診断の結果についてご連絡いただきますようお願いいたします。